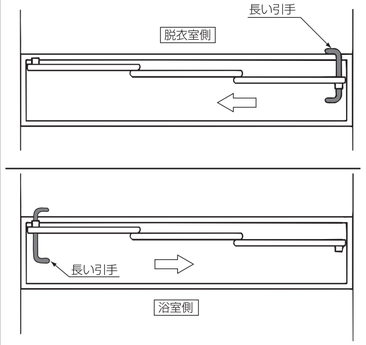
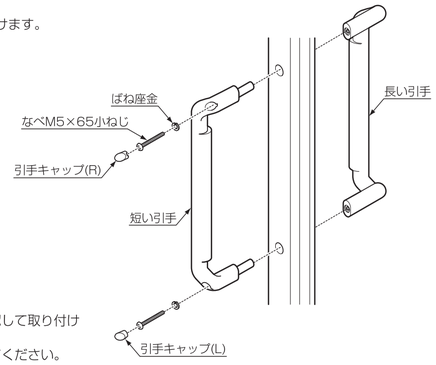
⑥施工の仕方　ロック、引手の取り付け

1.引手の取付位置確認



2. 引手の取り付け

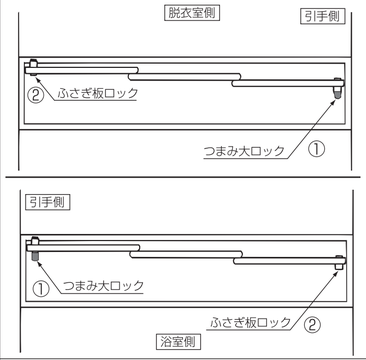
• 引手側障子に付属のねじで引手を取り付けます。



小袋A

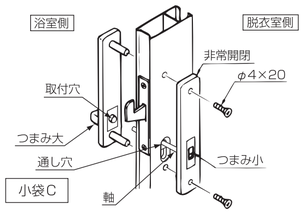
◆引手キャップには(R)と(L)があります。
◆引手キャップ内部の「R」「L」表示を確認して取り付けてください。
◆引手キャップをなくさないよう注意してください。

3. ロックの取付位置確認



4. ロックの取り付け　①

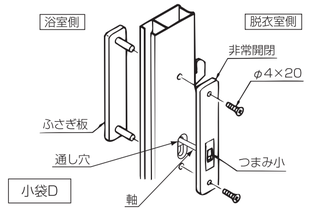
• 引手側障子



◆つまみ小の軸を錠内部の通し穴とつまみ大裏側の取付穴に通してください。
◆つまみを動かしてフックが動くか確認してください。
◆つまみ大が浴室側です。

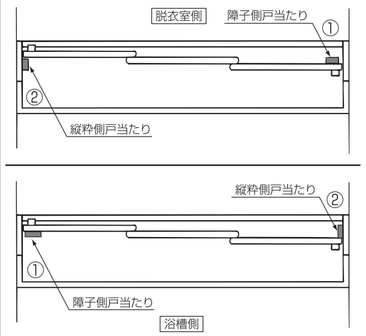
5. ロックの取り付け　②

• 固定側障子



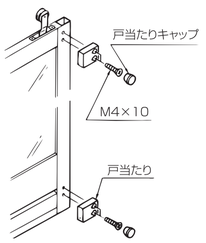
◆つまみ小の軸を錠内部の通し穴に通してください。
◆つまみ小を動かしてフックが動くか確認してください。
◆ふさぎ板が浴室側です。

6. 戸当たりの取付位置確認



7. 戸当たりの取り付け　①

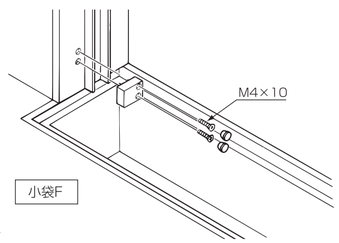
• 引手側障子、上、下2カ所に戸当たりをつけてください。



◆キャップをなくさないよう注意してください。

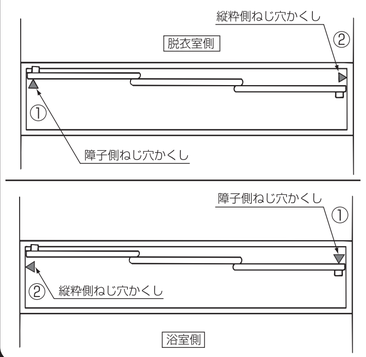
8. 戸当たりの取り付け　②

• 縦枠、上、下2カ所に戸当たりをつけてください。



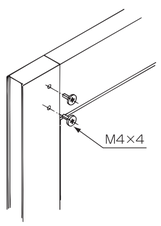
◆キャップをなくさないよう注意してください。

9. ねじ穴かくしの取付位置確認



10. ねじ穴かくし取り付け　①

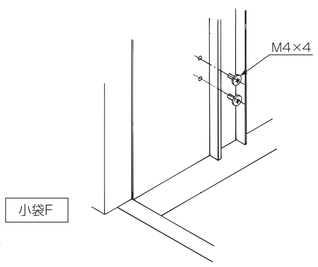
• 障子のねじ穴を付属のねじでふさいでください。



◆ねじ頭をつぶさないよう注意してください。

11. ねじ穴かくし取り付け　②

• 縦枠のねじ穴を付属のねじでふさいでください。



◆ねじ頭をつぶさないよう注意してください。

EWP01206S

施工説明書

2015.05

TOTO

段差解消3枚引戸

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。
取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

●この説明書では商品を安全に正しく取り付けていただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。
その表示と意味は次のようになっています。

表　示	意　味
⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うことが想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負うことが想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

⃠	⃠ は、してはいけない「禁止」内容です。
❗	❗ は、必ず実行していただく「強制」内容です。 左図は、「必ず実行」を示します。

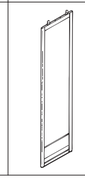
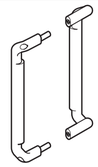
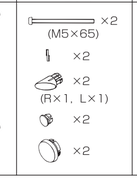
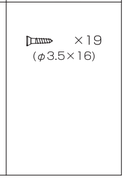
⚠警告

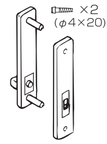
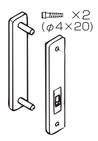
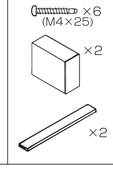
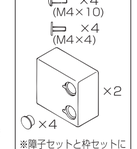
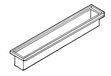
必ず実行	**浴室に組み込まれる電気機器・水栓などの付帯設備は、それぞれの商品に添付されている施工要領書・製品本体の注意表示を守り、正しく設置する** 誤った設置をすると、思わぬ事故や故障の原因となります。

⚠注意

禁止	**1階用として設計されているので、階上用として使用しない** 水漏れを起こすことがあります。
必ず実行	**工事に使われる溶剤・洗剤・接着剤・その他薬品は、容器などに記載の注意表示に従って、正しく使う** 誤った使い方をすると、人体に影響が出たり、使用部材の損傷や劣化の原因になります。
	給水・給湯管、排水管は、添付されている施工要領書どおり確実に施工する 誤った施工をすると、水漏れを起こすことがあります。

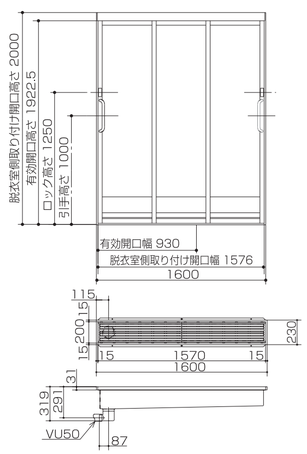
①名称（部材一覧表）※梱包を開け、下表を参照のうえ、部材・部品の有無を確認ください。

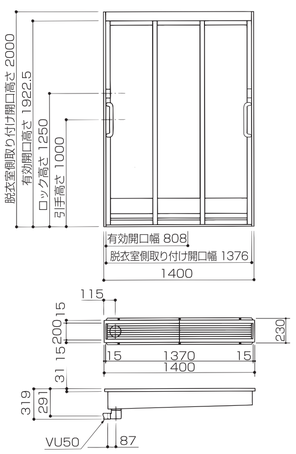
部材	障子　1	障子　2	障子　3	上　枠	縦枠　R	縦枠　L	引　手	小袋　A	小袋　B
入数	1	1	1	1	1	1	1セット	1セット	1セット
姿図									

部材	小袋　C	小袋　D	小袋　E	小袋　F	グレーチングキャップ	グレーチング	ピット	トラップ
入数	1セット	1セット	1セット	2セット	5本	2	1	1
姿図				 ※障子セットと枠セットにそれぞれ1袋ずつ同梱				

②製品寸法

(単位：mm)





取り扱い上のご注意

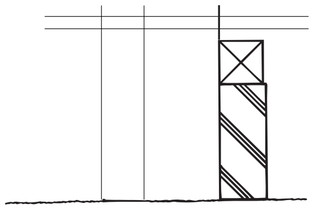
■取り扱いに際しては手袋をご使用ください。
■表面にモルタルなどが付着した場合はすぐに取り除いてください。
■脚立などを、グレーチング、およびピットの上に載せないでください。
■グレーチングは、壁に立てかけると倒れたりして危険です。必ず床に置いてください。

取り付け前の準備

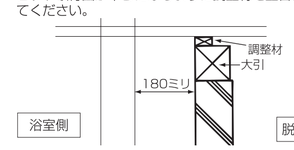
■製品寸法、納まり図を参考に建築側で寸法を合わせるように準備してください。
（脱衣室側の額縁はピット取り付け後、施工します）
■ピットを取り付ける前にあらかじめ、所定の位置に排水管を配管してください。
■浴室の排水は、別途主排水を用意していただきますようお願いします。
■脱衣室側、大引などに防水シートの施工をおすすめします。

③施工の仕方　ピットの取り付け

1. 墨出し・準備
• 図面を参考にして、墨出しをしてください。

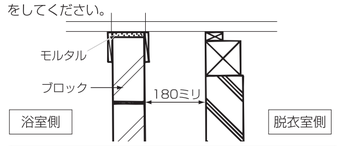


2. 調整材の取り付け
• ピット取付面が平らになるように調整材を土台に取り付けてください。



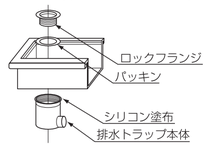
⚠注意
必ず実行
墨出しに従って、調整材を正しく取り付け、レベル出しをする
レベル合わせに不備があると、障子開閉の不具合や水漏れの原因となります。

3. 浴室側コンクリートブロックの取り付け
• コンクリーブロックを設置し、脱衣室側とレベル合わせをしてください。



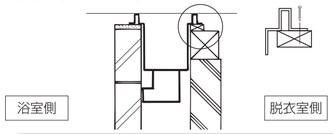
⚠注意
必ず実行
墨出しに従って、浴槽側土台を正しく取り付け、レベル出しをする
レベル合わせに不備があると、障子開閉の不具合や水漏れの原因となります。

4. 排水トラップの取り付け
• 排水方向を決めピットに排水トラップを取り付けてください。



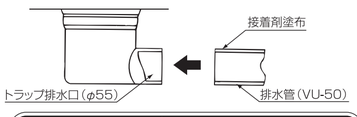
⚠注意
必ず実行
シリコンを均一に塗布し、確実に取り付ける
シリコンの塗布が不均一だと、水漏れの原因になります。

5. ピットの取り付け
• ピット位置を決め、洗面所側のピットフランジ部分をねじ止めしてください。



⚠注意
必ず実行
ピットを正しい位置に変形のないように取り付ける
ピットが正しい位置にないと、障子開閉の不具合や、水漏れの原因となります。

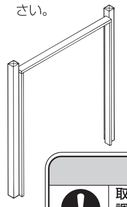
6. 配水管の接続
• 排水管に接着剤を塗布し、トラップ排水口と排水管を接続してください。



⚠注意
必ず実行
排水管をトラップ排水口に接着剤を使って確実に接続する
排水管の接着に不備があると、水漏れの原因になります。

④施工の仕方　枠の取り付け

1. 開口部の作り方
• 上枠、縦枠取付面の水平垂直を正しく調整してください。



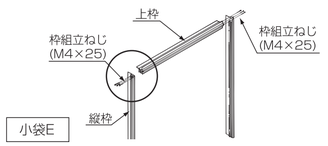
開口寸法の目安

	H	W
EWBS 600R	2005	1605
EWBS 601R	2005	1405

（単位：mm）

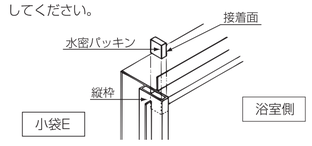
⚠注意
必ず実行
取付面の寸法・水平・垂直を正しく調整する
寸法に不備があると、障子の開閉に不具合や水漏れの原因となります。

2. 枠の組み立て
• 上枠、縦枠を付属ねじで組み立ててください。



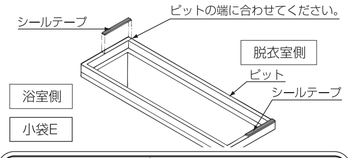
⚠注意
必ず実行
枠組立ねじで、縦枠と上枠を正しく確実に組み立てる
組み立てに不備があると、障子開閉の不具合原因となります。

3. 水密パッキンの取り付け
• 黒色パッキンのシールをはがして縦枠上部浴室側に接着してください。



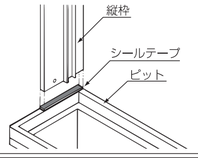
⚠注意
必ず実行
水密パッキンを縦枠上部浴室側に正しく確実にはり付ける
はり付けに不備があると、水漏れの原因になります。

4. シールテープの取り付け
• グレーのシールテープをはってください。



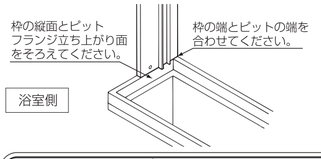
⚠注意
必ず実行
シールテープをピットの正しい位置に確実にはり付ける
シールテープが正しい位置にないと、水漏れの原因となります。

5. 枠の取り付け
• 枠を浴槽側から開口部に差し込んで取り付けてください。



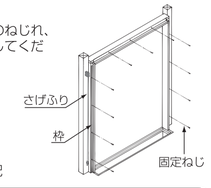
⚠注意
必ず実行
縦枠をシールテープ上に正しく乗せる
縦枠がシールテープの上に正しく乗らないと水漏れの原因となります。

6. 枠の位置決め
• 所定の位置にすき間なく取り付けてください。



⚠注意
必ず実行
縦枠をピットにはり付けたシールテープ上に正しくすき間が空かないよう確実に位置決めをする
縦枠がピットの上に正しく乗らないと、水漏れの原因になります。

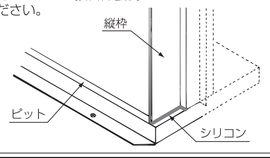
7. 枠の固定
• 仮止めしながら枠のねじれ、水平、垂直を調整してください。



◆枠固定ねじは現場手配

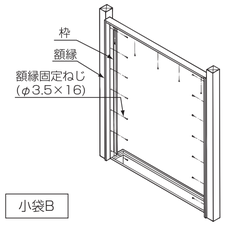
⚠注意
必ず実行
枠を正しく調整して確実に固定する
枠が正しく固定されていないと水漏れの原因となります。

8. シリコンコーキング
• 縦枠とピットの接合部裏側にシリコンコーキングしてください。



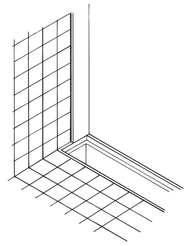
⚠注意
必ず実行
縦枠とピット、シールテープを接地部にシリコンコーキングを確実に行う
コーキングに不備があると水漏れの原因となります。

9. 額縁の取り付け
• 額縁を取り付け、枠を付属ねじで固定してください。

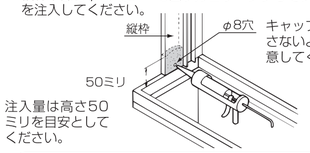


④施工の仕方　枠の取り付け

10. 浴室工事・タイル左官工事
• 枠・ピット周囲の壁、床を仕上げてください。

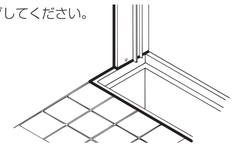


11. シール材の注入
• 縦枠下部のφ8穴に4～5回フルコッキングしてシリコンを注入してください。



⚠注意
必ず実行
縦枠φ8穴からシリコンを十分に注入する
シリコンが正しく注入されていないと、水漏れの原因になります。

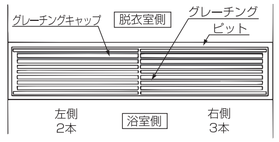
12. シリコンコーキング仕上げ
• 枠、ピットの仕上げ材、すき間（目地）にシリコンでコーキングしてください。



⚠注意
必ず実行
枠、ピット周囲にシリコンコーキングを確実に行う
シリコンが正しくコーキングされていないと、水漏れの原因となります。

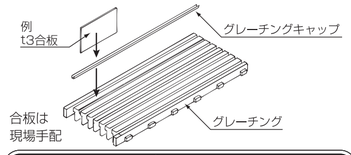
⑤施工の仕方　障子の組み立て

1. グレーチングの確認・準備
• グレーチングキャップはすき間風防止、水はね防止用です。



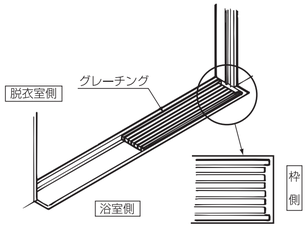
⚠注意
必ず実行
ピット、グレーチング、グレーチングキャップの位置確認を行う
間違った位置にあると、障子開閉の不具合や、水はねの原因となります。

2. グレーチングキャップの取り付け・準備
• グレーチングキャップをはめ込んでください。

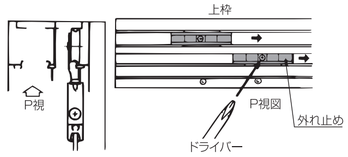


⚠注意
必ず実行
グレーチングキャップ（すき間風防止・水はね防止用）をグレーチングに正しく確実に取り付ける
取り付けに不備があると、障子開閉の不具合や、水はねの原因になります。

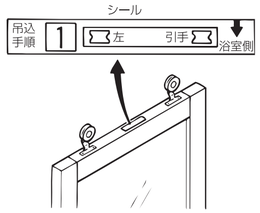
3. グレーチングの取り付け・準備
• グレーチングの切り欠き部が枠の方にくるようにして右側に1枚だけセットしてください。



4. 外れ止めの移動・準備
• 上枠の障子外れ止めをドライバーなどで押して移動させてください。
この切り欠き部から障子戸車を入れます。

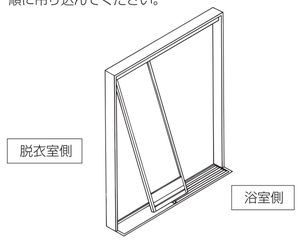


5. 障子番号の確認・準備
• 障子番号を確認してください。

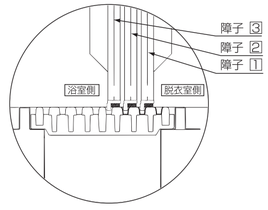


◆1、2、3の順番で障子の吊り込みします。

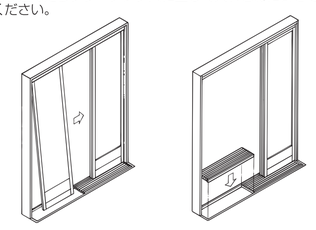
6. 障子の吊り込み　①
• 浴室側に立ち、洗面所側（奥）から障子 1 2 3 の順に吊り込んでください。



7. 障子の吊り込み　②
• グレーチングの溝の正しい位置に入るように注意してください。

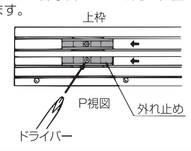


8. 障子の吊り込み　③
• 吊り込んだらグレーチング溝に正しく入れ右側に寄せてください。



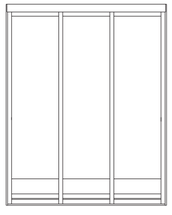
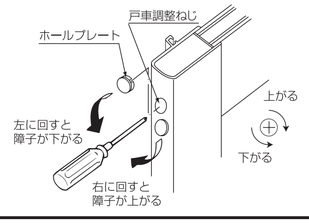
◆左側グレーチングをセットします。

9. 外れ止めセット
• 4で移動させた障子外れ止めを元の位置（切り欠き部）に戻します。



⚠注意
必ず実行
障子外れ止めを元の位置（切り欠き部）に戻す
障子外れ止めが正しい位置にないと、障子外れの原因となります。

10. 建て付け確認
• 障子が正しく取り付けられているか確認してください。



11. 建て付け調整
• 閉めた状態で3枚の障子が枠に対してすべて平行になっていない場合は建て付け調整をしてください。